

戦時下、学校・家庭・地域社会を舞台に 「家庭教育」の振興が追求された。 母親を中心とした女性を教化・組織した、 振興政策の本質は何だったのかー

国が構想した家庭教育の内実、

そして各地で展開した「母の講座」「母親学級」「母の会」などを検証し、 その実態を明らかにする。

法的措置をとってまで国家が「支援」という名の介入をした

もともと「私的」領域である家庭教育に、

「重視」が盛り込まれる

グがやたら目立つ。政策側も

して

戦時下の教育と女性運動の問題を問いかける書!

家庭教育と母親が「動員」されるとき……

のもと、国家は学校教育だけでなく社会教育、家庭教育を含 にした。アジア・太平洋戦争期と重なるこの時期ほど、 家庭教育とその担い手たる母親も対象であった。 こうした家庭教育に対する国家の介入の歴史とそ 一九三〇~四五年の期間にわたって詳細に明らか 「皇国民錬成」に貢献させるべく再 地域婦人団体の組織

推薦の ことば

清 水康幸

青山学院女子短期大学しみず・やすゆき

動員される 母親たち

戦時下における家庭教育振興政策

定価:4,000円+税 A5判・上製・約300頁 ISBN978-4-905421-69-6



この歴史の教訓から、

およそ「教育」とはかけ

第 第 第 二 節 先行研究の検討問題の所在と課題意識

本研究の課題と構成

家庭教育振興政策の開始と「教学刷新」への移行

はじ めに

章 家庭教育振興政策における「学校教育 任 山の傾向」 0 問題

第第二第 第二節 文部省訓令「家庭教育振興ニ関スル件」公布の目的

ジャーナリズムにおける教育関係者の家庭教育認識の動向一九三〇年代における家庭教育振興政策の動向

第二章 家庭教育振興事業の実施とその行き詰まり 又部省主催「母の講座」の展開過程を中

心に

第一節 文部省主催「母の講座」の末路 講義内容の動向 で部省主催「母の講座」の開催状況

第二節

第三節

総力戦体制下での家庭教育振興政策の動向

はじめに

第三章 戦時下家庭教育振興政策の展開

第二節 家庭における錬成の登場

戦時動員の本格化と家庭における錬成の変質

第三節

第四節 戦争末期における家庭教育の統制とその末路家庭における社会教育機能の消失

第四章 講座方式による戦時下家庭教育振興事業の展開

第二節 家庭教育指導者講習協議会ならびに家庭教育講座の開催状況

第三節

第四節 講座方式を用いた戦時下家庭教育振興事業が母親の動員に与えた影響「母親学級」の開催状況「母の講座」の開催状況

第五章 戦時下における小学校「母の会」の 展開

自治体後援による「聯合母の会」の組織化の動き文部省による小学校「母の会」の設置奨励小学校「母の会」の設置奨励

第第第第 五四三二 節節節節節 小学校「母の会」の設置の意味国民学校「母の会」の活動状況

第六章 地域組織の統制と「婦人」の動員

第一節 大日本婦人会の発足と婦人常会の動向教員の隣組・常会への参加町会制度の整備と町会事業の拡大の動き――東京市の事例地域組織の統制が家庭教育振興政策に及ぼした影響の検討

第二節

第三節

第四節

結

3. 戦後の動きと残された課題2. 基盤形成の実態とその隘路1. 家庭教育の構想とその末路

M

発行

六花出版

●弊社は注文制です。

お近くの書店へご注文ください。

●書店ご担当各位

小社の書籍は、

٢

ハン・日販・大阪屋・太洋社その他すべての取次から入手できます。

奥村典子

著

 \Box

注文カード

〈八木書店経由〉

動員される母親たち

戦時下における家庭教育振興政策

帖合·貴店名

注文数

定価:

四、○○○円+税

ISBN978-4-905421-69-6

著者紹介

奥村典子 おくむら・のりこ

一九七八年 東京都に生まれる

二〇二二年 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了

在 関東短期大学こども学科講師

お名前

お電話番号

注文

年

月

2014/9